

Information

イベント情報

これから開催するイベント一覧です。

詳細やお申し込み方法は、サポートオフィスHP内の「イベント」ページをご確認ください。



1月

まちカフェ!オープンデー

町田市庁舎2階 市民協働おうえんルーム

●「まちカフェ! 365日」が言葉! 気軽に地域活動についての相談やふらっと交流ができる場として、原則毎月第一木曜日に町田市庁舎に終日サポートオフィススタッフが出張しています。団体の定例ミーティング、サポートオフィスへの相談の機会にご活用ください。



のぼり旗が目印です▲

● 14:00~16:00 …… WAM助成説明会&相談会(対面 / オンライン)

独立行政法人福祉医療機構(WAM)が行う社会福祉振興助成事業(WAM助成)の説明会を行います。※オンライン参加は前半の質疑応答まで



要予約 参加申し込みはこちら▶



Pickup Event

まちだ子どもアクション 子どもと共にありたい 大人のしゃべり場

まちだ子どもアクションは、市民協働フェスティバルまちカフェ!を発端に、子ども関係の団体が集まり、子どもの主体性、意見表明、参画を応援する大人のネットワークを作ろうと活動しています。まずは大人が子どもの権利を学ぶところから活動をスタートしています。今年度は奇数月にしゃべり場を開催。毎回ゲストからお話を聞き、参加者同士で感想などをシェアしています。お気軽にご参加ください。

1月のゲスト
宮下聡氏
(川口市いじめから子どもを守る委員会 委員長)
いじめの解決を子どもの学びにした事例等を交えながら、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

Check!

2026年3月8日(日)午前11時に「聴ける?子どもの声 届いてる?わたしの声~子どもと共にありたい大人の学び場フォーラム vol.2」を対面で開催予定です。詳細が決まり次第、ご案内します!

1/8(木)
10:00~17:00

Pickup Event

1/8(木)
20:00 ~ 21:00

聴ける?子どもの声 届いてる?わたしの声

まちだ子どもアクション 子どもと共にありたい大人のしゃべり場

「子どもの権利からいじめ解決を考える」

● オンラインZOOM (ミーティングID:835 3010 2837 / パスコード:618915)
※予約不要・時間になりましたらお入りください

● 主催 まちだ子どもアクション 共催 町田市地域活動サポートオフィス

感謝の気持ちを伝えよう

まちカフェ!アワード

町田市庁舎2階 市民協働おうえんルーム

● 2025年度のまちカフェ!を振り返りながら、ありがとうの気持ちを伝えお互いに称え合う「表彰式(アワード)」を開催します。参加団体のどなたでもご参加いただけます。



1/16(金)
18:30 ~ 20:30

- 年末年始のお知らせ 2025年12月27(土) ~ 2026年1月4日(日)まで年末年始休業となります。
- 次回サポートオフィス通信65号は2月中旬発行予定です。

スタッフが日々の生活や仕事の中で見た、聞いた、感じたことを読者の皆さんにちょこっとシェアします。過去のバックナンバーも右記のHPからご覧いただけます。ぜひお楽しみください。



サポートオフィススタッフ
Note No.7



大谷光雄

現在は週1回ほどボランティアスタッフとしてサポートオフィスに携わっています。

「私のベースキャンプ」

ここで、30年に渡り、身の回りの環境と心の調和を心がけ、相手を含めすべてを敬い、心も佇まいも清らかに、そして、穏やかで静かな心を持つことを心がけよ、を教えていただいた茶の湯の師とのお別れを迎えました。もう一つ、今年の春、6年に渡り地域づくり・自分づくりの挑戦の拠点サポートオフィスを離れました。そして、地元町内会、演劇鑑賞会、最近付き合いが始まった文化協会などを中心としたつながりづくりにいそむ日々となりました。せわしなく日々を過ごす中で、時々茶の湯の本を手には心の潤いを思い出し、サポートオフィスに立ち寄っては、活動のエネルギー注入ができていくことに気がつきました。動きながら和敬清寂を思い出し、サポートオフィスでは前を向いて挑戦し続けるメンバーとスクラムを組む、この二つが、いまの私の軽やかな日々を支えるベースキャンプとなっています。大切にしていきたいと思っています。

町田市地域活動サポートオフィスでは、地域活動に関する悩みや相談を受け付けています。電話やメール、または直接来所して相談することができます。



町田市地域活動
サポートオフィス

MAIL info@machida-support.or.jp

TEL 042-785-4871

月~金 午前9時から午後6時(毎月第三水曜日は午後5時まで)

〒194-0013 東京都町田市原町田4丁目9-8 町田市民フォーラム4階

最新情報はHPや各種SNSでも発信しております。



友だち登録募集中

https://machida-support.or.jp



まちだづくりのコミュニケーション誌

サポートオフィス通信



一般財団法人町田市地域活動サポートオフィス 発行

2025 DEC vol.64

公式LINE
始めました



友だち登録で
最新情報配信中!



▲会場は相模大野「kichika(キチカ)」で行いました。相模原・町田など地域の活動を応援する拠点となっています。

Now | 開催報告 |

連続講座まちだづくりカレッジ 最終報告会を開催しました!

10月24日(金)「まちだづくりカレッジ」の最終報告会を開催しました。まちだづくりカレッジは、サポートオフィスが毎年開催している5回連続講座です。この日は組織づくりコース5団体とナリワイづくりコース9名の発表がありました。会場には過去のまちだづくりカレッジ卒業生や講座に関心を持っている方、行政職員など30名が集まり、一人ひとりのプレゼンテーションにじっくりと耳を傾けました。発表後は質疑や応援のコメント、メッセージカードでのフィードバックが寄せられました。



当日の様子は
HPよりご覧いただけます!



まちだづくりカレッジのゴール

● 組織づくりコース
三つ折りパンフレットの完成

団体の大切にしているビジョンやミッション、事業内容、関係者(ステークホルダー)などを明確にすることに取り組んできました。「まず挑戦してみる、60点でもやってみる」というナリワイづくりコースで大切にしている体験学習の実践として、11月29日開催のまちカフェ!オープニングイベントで企画を実施しました。

● ナリワイづくりコース
まちカフェ!イベント企画の完成

好きなことと地域の困りごとをかけあわせたオリジナルの企画づくりに取り組んできました。「まず挑戦してみる、60点でもやってみる」というナリワイづくりコースで大切にしている体験学習の実践として、11月29日開催のまちカフェ!オープニングイベントで企画を実施しました。

まちだづくりカレッジの輪も広がっています

まちだづくりカレッジ修了生は、組織づくりコース30団体、ナリワイづくりコース23名となりました。懇親会では、ナリワイづくりコース卒業生が準備したお料理やお茶を囲みながら、それぞれの活動紹介など交流の時間を楽しみました。町田で活動する仲間として、タテとヨコのつながりを大切にしていきます。



\ 年末がチャンス! / 忙しい時期だからこそ手軽にできる サポートオフィスおすすめ!“団体の振り返り”3つの手法



年末といえば〈大掃除〉と〈振り返り〉ということで、「忘年会」で忘れてしまう前に今年一年の振り返りをしてみませんか?一年間の活動全体でも良いですし、一番印象的なイベントや活動のことも良いと思います。今号では、サポートオフィスが実践している「振り返り」のための手法を3つご紹介します。振り返りをするメンバー同士のコミュニケーションも深まりますし、次の活動へのステップも見えてきます。手軽に!気軽に!できそうなものからぜひ挑戦していただければ嬉しいです。

振り返りに取り組む際のポイント

- POINT1** まずは感謝を伝え合おう!
メンバー同士で感謝を共有し、あたたかい空気でスタートしよう。
- POINT2** 関係者の声も聞いてみよう!
参加者や協力者など、外部の声も振り返りに取り入れよう。
- POINT3** 落ち着いて振り返りができる環境を用意しよう!
振り返りの日を決め、会議室の準備をしよう。

HOW TO —手法— 01

ふりかえり評価

「ふりかえり評価」は、ふりかえり評価実行委員会(事務局:認定NPO法人アカツキ)が開発した、活動の価値を自分たちで簡単に振り返る手法です。サポートオフィスでは、スタッフが第1期の研究会に参加したことをきっかけに、内部会議や協働プロジェクトの実行委員会など、幅広い場面で活用しています。

従来「振り返り」というと、つい改善点を探すことに意識が向き、「重箱の隅をつつくような場」になってしまうことがあります。また、「評価」というと客観性を意識しすぎて、一人ひとりの想いや感情が薄れてしまうという経験をされた方も多いと思います。「ふりかえり評価」では、最初に「嬉しかったこと」を共有し、エピソードや感情を交えて話します。これにより、あたたかい雰囲気ですることが出来ます。サポートオフィスで実施したときはエピソードのところで全員大笑いするということもありました。さらに、参加者それぞれが「大事にしていたこと」を共有。このことで、単なる改善点に留まらず、事業を改善する際に立ち返るべき「活動の本質」が見えてきます。イベントなどの振り返りを行う際にも、具体的な改善点を出し合う前に、この「ふりかえり評価」を取り入れてみることをおすすめします。



Message

ふりかえり評価を実施した団体の声

辻岡秀夫さん(NPO法人ゆどうふ理事長)
はじめ「評価」と聞いて、事業成果?と想像しましたが全然違いました。皆の目線をそろえずに自分たちの活動についてそれぞれの想いや考えを伝えあって実はできていなかった。振り返るととても楽しい時間でした。

ふりかえり評価の進め方

期間とテーマの決定

「今年1年間の活動を振り返る」
「まちカフェ!で出展したイベントについて振り返る」といったように、振り返りたい期間とテーマを設定します。

3つのお題による共有

期間とテーマが決まったら、次の3つのお題について、参加者全員が順番に話していきます。この際、具体的なエピソードや感情を交えてもらうことがポイントです。

- ・「嬉しかったこと」とその理由
- ・「モヤッとしたこと」とその理由
- ・「自分が大事にしていたこと」とその理由

一つの質問について全員が話し終えてから、次のお題へと進みます。
短ければ15分程度でも実施できますのでぜひ実施してみてください!

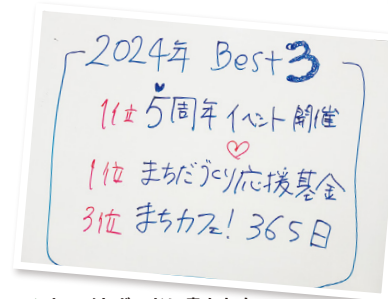
ふりかえり評価の「トリセツ」や「解説漫画」など実施方法の詳細やコツは
ふりかえり評価実行委員会HPよりご覧いただけます。



HOW TO —手法— 02

みんなで振り返り、みんなで決める 今年の「ベスト3」

一年間に実施したイベントや取り組みについて、印象的だった出来事の「ベスト3」をメンバーで話し合っ決めてという手法です。サポートオフィスでは、毎年12月末に全員で実施。一年間に実施してきた企画や印象的なエピソードなどを雑談のようにどんどん挙げていき、ホワイトボードにメモをして最終的にみんなでベスト3を決めます。メンバーそれぞれが頑張ったことや印象に残ったことが自然と共有できます。また、最終的に団体としてのまとめにもなります。



▲ホワイトボードに書かれたサポートオフィスの昨年のベスト3!



▲飲み物やお菓子を食べながらなど、リラックスしてざくばらんに話すことも楽しい振り返りのコツです。

HOW TO —手法— 03

感謝の気持ちを伝え、称え合う 「表彰式(アワード)」

メンバーや関係者に対して、ありがとうの気持ちを伝える表彰式(アワード)を開催する手法です。面と向かい感謝の気持ちを伝えることは気恥ずかしいかもしれませんが、「〇〇〇賞」とタイトルをつけて表彰式の仕立てにすることで、感謝の気持ちを伝えやすくなります。表彰状風の用紙やメッセージカードなど何でもOK。個人で振り返り記入する時間を十分に取、全体で共有する際は、表彰した人・表彰された人の両方からコメントをもらうと良いです。



▲皆さんから寄せられたアワードの数々。



▲毎年まちカフェ!終了後に実施している「まちカフェ!アワード」の様子。

+ONE プラスワン

振り返りをまとめて「アニュアルレポート(年次報告書)」として発信する

アニュアルレポート(年次報告書)とは、年度ごとの活動内容や会計報告などをまとめた報告書で、支援者や地域・社会に向けて活動の成果や理念を伝える役割を持ちます。団体内での成果の可視化や、外部への活動理解促進にも役立ちます。レポートの発信方法は、HPやSNSへの掲載、冊子、ニュースレターなど、どのような形でもOKです。数値データ(定量)と質的データ(定性)の両方を盛り込むのがおすすめです。

アニュアルレポートに掲載する内容の例

- 活動報告(イベント等の実施件数・参加人数、利用者数、相談件数など)
- 写真
- 感想(参加者・利用者の声、メンバーの声、アンケート結果など)
- 次年度の計画
- 収支報告

年間活動報告
町田いぬねこ
守り手ネットワーク



広報誌
特定非営利活動法人
目と心の健康相談室

